



【事業概要まとめ】



社会的緩和ケアの実践：孤独化・貧困化対策を実践します。
 ▶「NPO法人 CLEAR」と「島の病院おおたに」が上記の支援事業を地域住民の低額ボランティアの形ではじめます。
 ▶「支援する人」「支援される人」のマッチングシステムも開発します。

ALL ライフサポート事業 (貧困対策・生活支援事業・身元保証人事業) に関する IT 化の仕組みづくり

医療法人社団大谷会 島の病院おおたに
副院長 小林 達也 さん



えたじま新発見 観光ツアーづくり事業

江田島エコツーリズム協議会
会長 峰尾 亮平 さん

団体紹介

島の病院おおたには、「島でねばる」医療を理念に、江田島市を中心に赤ちゃんから高齢者まで幅広い世代へ地域密着型の医療を提供しています。

今回の申請内容

江田島市では超高齢化により生活困窮世帯が増加しています。一方、医療機関では政策により長期入院が難しく、在宅や施設への移行支援が必要ですが、対応困難なケースが増えています。公的支援も十分でなく、細かな支援が行き届かないのが現状です。民間サービスもありますが、困窮世帯には高額で利用が難しく、住民や医療・福祉職による無償ボランティアで対応しているのが実情です。

当院では、低額で生活支援するNPO法人CLEARと連携し、有償ボランティアによる持続可能な仕組みを構築し、広島ラボCOCODEMO江田島のもとIT化により、「支援される側」と「支援する側」が効率的にマッチングできるシステムを作ります。

活動への思い

有償ボランティアにすることにより、今まで無償ボランティアをされていた方が報われるよう、かつ、IT化することで若い方もスキマ時間にボランティアが出来る形にし、地域で支え合う持続可能な仕組みづくりを実現したいと思います。

皆さんに一言

11月13日(木)午後2時から、当院4階で事業説明会を開催予定です。医療・福祉関係者の皆さまはもちろん、地域の皆さまのご参加をお待ちしております。

団体紹介

当協議会は「観光からまちを元気にする」ことを目的に、市内の事業者が集まり、活動しています。『『生産者に会える』『島暮らしを体験できる』特別な旅』をテーマに、江田島市の自然環境を生かした観光体験プログラムづくりとツアー運営に取り組んでいます。

今回の申請内容

- ・昨年度に続き、今年度は、
- ・ツアープログラムの開発と販売
- ・他地域実践者を招いての観光まちづくり講座開催などを予定しています。

活動への思い

「観光体験を江田島市との関わりの入口にしたい」そんな想いで活動しています。自然豊かな環境とそれを生かした仕事を維持していくには、地域住民と交流人口(観光客など)が手を取り合うことが大切になります。

江田島市には、魅力的な自然と、島らしいものづくりをしている事業者さんがたくさんいます。瀬戸内の江田島市らしい産業や文化を見て、体験し、背景や思いを知ってファンになってもらうことを目標に取り組んでいます。

皆さんに一言

今まであまり知らなかった島の自然や産業を知ることで、「江田島市ってやっぱりいいところだね」と再確認する。住んでいる皆さんにとっても、新しい発見や喜びがあるツアーづくりを目指しています。

皆様のご参加を心からお待ちしています。



江田島市協働のまちづくり地域提案型活動支援事業

\\わたしたちのまちを、**キラリ**と輝かせる!\\

採択団体の取組を紹介

圏地域支援課 ☎ 0823-43-1637

江田島市協働のまちづくり地域提案型活動支援補助金

この制度は、地域のために自主的に活動している団体から応募のあった、「江田島市をキラリと輝かせる取組」のうち、審査会において採択された団体に対し、その事業費の一部を助成するものです。

今年度は過去最多となる18団体からの申請があり、1次審査・2次審査（6月10日能美市民センター）を経て、熱い思いのこもった8団体が採択されました。今号では、採択された団体の取組をご紹介します。

今年度の採択団体

- 1 医療法人社団大谷会 島の病院おおたに
- 2 江田島エコツーリズム協議会
- 3 江田島にみんなの遊び場をつくる会
- 4 江田島湾パドルリレー実行委員会
- 5 GOOD DAY! ETAJIMA
- 6 しまのぱん souda! 食の循環部
- 7 特定非営利活動法人 沖美町地域再生会議
- 8 三高つなぐ会

補助金の申請は、毎年5月頃に受け付けしています。
詳しくは地域支援課まで。



▲採択事業の
イベント情報
(市 HP)



▲これまでの
採択内容
(市 HP)





江田島市インバウンド 受入環境構築モデル事業

GOOD DAY ! ETAJIMA
代表 早稲田 圭 さん

団体紹介

訪日外国人旅行者が増える中、今後は地方や離島にも来訪が広がると予想されます。

江田島市には、自然の豊かさや人とのあたたかなふれあいなど、“ここにしかない魅力”にあふれていますが、「どう対応していいかわからない」「言葉が不安でつい避けてしまう」といった声も多く聞かれます。

そうした不安に寄り添い、地域ぐるみでやさしく受け入れる「空気」と「仕組み」を整えることを目指し、活動をスタートしました。

今回の申請内容

市内の宿泊・飲食・アクティビティ事業者などと連携し、外国人旅行者の受け入れを支援する体制を構築します。接客マニュアルや英語メニューのテンプレート、多言語ガイドの整備、GoogleMap対応、映像によるプロモーション、外国人モニターとの意見交換などを行い、誰でも活用できる「やさしい受け入れツール」を開発・共有します。

活動への思い

出発点は、「インバウンド＝難しいこと」ではなく、「人と人が出会うきっかけにしたい」という想いです。英語が話せなくても、おせっかいでも、笑顔で「ようこそ」と言える地域の力を信じています。

観光ではなく、つながりを育む“江田島市の旅”。その入口として、この活動を育てていきたいと考えています。

皆さんに一言

英語、話せなくても大丈夫。「ちょっと手伝えるかも」「気になるから見てみたい」そんな関わり方、大歓迎です！



「みんなの畑、みんなのコンポスト」プロジェクト

しまのぱん souda! 食の循環部
部長 西村 京子 さん

団体紹介

「しまのぱんsouda!」は、江田島市産や広島県産の薪で焼いたパンを販売するパン店です。薪窯の余熱活用や環境映画の上映など、循環型社会に向けた活動を続けており、このたび「食の循環部」を立ち上げました。地域・世代をつなぎ、生ごみの資源化や食育を進める「みんなの畑・みんなのコンポストプロジェクト」に取り組みます。

今回の申請内容

ひとつの畑を囲み、一緒に作業することで、地域間・世代間を超えた人々の交流を深めます。また、共同コンポスト（キエーロコンポスト）を設置し、家庭で出た生ごみを持ち寄り、堆肥化します。家庭内のごみの中でもっとも多い「生ごみ」の資源化と処理費用の削減、運搬時や焼却時の排出CO2の削減と地域の環境改善を目指します。

井戸端会議ならぬ、コンポスト端会議でお喋りしながら、家庭から出たごみを活用し野菜を育てることで、地域の環境意識を高め、持続可能な地域にしていきます。

活動への思い・皆さんに一言

勉強会や収穫祭を行うなど、共同コンポストを市全域に広げることを目標にしています。生ごみ処理費用の削減だけでなく、「自然の循環や人とのつながりを感じられる環境にやさしいまち」として、江田島市のイメージアップにもつながることを目指します。

どなたでも参加していただけますので、ぜひご参加ください。

団体紹介

誰でも来られるみんなの遊び場、居場所づくりを行っていきます。1人1人の個性や能力を活かし、やってみたいことを実現していきます。みなまるは、ともに助け合いながら、地域でまるくつながっていくという意味です。

今回の申請内容

海と山（田んぼ）をフィールドとし、自分たちで衣食住を少しずつ実践していくことで、災害にも負けない生きる力とコミュニティの形成ができたと思います。7月には秋月公園で、流し素麺まつりを開催しました。秋月の地域の方々のご協力のおかげで、たくさんの方に楽しんでいただきました。その他にも田植えや稲刈り、お餅つき、マルシェ開催など、季節の行事を行うことで、地域の方々と子育て世帯や子どもたちが、自然の中で遊ぶことにより、関わり合いができたと思います。

活動への思い

里山や里海に豊かさを循環させて、伝統文化を大切に学び、地域の資源を再生させていけたらと思っています。

子どもたちの居場所をつくることによって、子育て世帯の移住者が増えていくことを願っています。

皆さんに一言

「みなまる」は、みんなでまるくつながるコミュニティづくりを目指しています。これからも様々なイベントを開催していきます。ぜひお気軽にご参加ください。一緒に楽しい時間を共有しましょう。アイデア及び一緒に活動する仲間も募集中です！



みなまる

江田島にみんなの遊び場をつくる会
代表 橘高 恵 さん

団体紹介

当団体は、カヌーやSUPの普及と江田島市での認知向上を目的に、大会開催や体験会、環境保全活動などを行っています。

今回の申請内容

昨年、第1回江田島湾パドルリレー大会を実施し、41チーム164名が参加、来場者は300名にのぼりました。これは一昨年まで実施されてきた「SEA TO SUMMIT」を上回る規模であり、特に地元の人達の参加が多かったことが大きな成果です。

今年は9月7日(日)に大会を開催します。市役所職員や地元企業、学校の参加を積極的に募り、学校対抗・職場対抗として盛り上げたいと考えています。

活動への思い

江田島湾はマリンスポーツにとって、日本屈指の最適フィールドです。この魅力を知っていただくには、実際に体験してもらうのが一番です。用具は主催者が用意するため、誰でも気軽に参加できます。大会を続けることで、市民の「海のお祭り」として定着させたいと思っています。

皆さんに一言

江田島湾と云う日本一のフィールドがあるので、是非一度、カヌーやSUPを体験して頂きたいと思います。学校や職場などのチームで参加されると盛り上がること請け合いです。事前にコースを試漕することも出来ます。小学生の方は、試漕も本大会参加も無料ですので、お友達と一緒に参加してください。



江田島湾パドルリレー大会

江田島湾パドルリレー実行委員会
会長 小野藤 訓 さん

10/5

日

午前7時～午後7時

江田島市議会議員 一般選挙

期日前投票

投票日に仕事や用事などで投票に行けない理由がある方は、期日前投票をご利用ください。

■期日前投票所

場所	期間	時間
大柿市民センター（大柿町大原）	9月29日(月)～ 10月4日(土)	午前8時30分～午後8時
江田島保健センター（江田島町中央）		午前8時30分～午後6時
能美市民センター（能美町中町）		
三高交流プラザ（沖美町三吉）	9月29日(月)～ 10月1日(水)	
沖美市民センター（沖美町畑）	10月2日(木)～ 10月4日(土)	

※どこの期日前投票所でも投票できます。

選挙公報

候補者の氏名、経歴、政見等が記載された選挙公報を発行する予定です。

この選挙公報は、新聞折込み、公共施設等への備え置き等の方法で配布し、市ホームページにも掲載します。

方法	予定日
新聞折込み	10月3日(金) 朝刊
公共施設等への備え置き	10月2日(木) 午後～
市ホームページへの掲載	9月30日(火) 午前～

岡大王・畑地区での直通バス運行

投票日当日は、沖消防屯所から沖美市民センターまで直通タクシーを運行します。ご利用される方は出発時刻の5分前までに沖消防屯所に集合してください。沖美市民センターで投票後、沖消防屯所に戻ります。

沖消防屯所出発時刻	沖美市民センター到着時刻	沖消防屯所到着時刻(目安)
8時00分	8時05分	8時25分
9時00分	9時05分	9時25分
10時00分	10時05分	10時25分

団体紹介

当団体は、荒廃農地の開墾・活用を通じて地域の再生とまち全体の活性化を目指す団体です。

今回の申請内容

一昨年から始めたブルーベリーは順調に生育し、今年から収穫可能となりましたが、農業指導員のアドバイスにより、今年の収穫は行わず、木を太らせる期間とします。スイレンは、昨年20株増殖しましたが、まだ水面の3分の1が空いているので、今年と来年でプール一面に広げる予定です。また、今年から小プールにカキツバタを移植します。

活動への思い

旧沖小プールはまとまった敷地面積があり、日当たりもよく眺望も抜群で、各種イベントをするには最適な場所だと考えています。ここを賑わいづくりの場として、例えば、毎月のマルシェ開催・各種果実狩り・オリーブの収穫体験・季節の花まつりなど、色々なイベントを実施して、近隣周辺の皆様との交流の場として、活用したいと考えています。

皆さんに一言

当プール敷地内の周辺空き地には、オリーブやプルーン・ブドウなどを植栽していますが、木と木の空き地にハーブを植え、ハーブ園として活用していきたいと考えています。既に、友人や知人からミント・ローズマリー・レモングラス・ディル・セージなどを株分けして頂き、植栽しています。株分け可能なハーブをお持ちの方は、ぜひお譲りください。



旧沖小プール花いっぱい運動

特定非営利活動法人 沖美町地域再生会議
理事長 勝谷 邦三 さん

団体紹介

三高つなぐ会は、三高中学校閉校記念行事の有志活動をきっかけに、この春発足しました。

今回の申請内容

高齢化・少子化・コロナ禍でイベントが減少する中、この春の三高中学校閉校記念行事には400人超が集まり、地域の可能性を感じました。

人が集まりつながることで、地域も元気になるのではないかと思います。旧三高中学校で地域のイベント『三高夏祭り』を8月16日(土)に開催しました。

夏祭りでは、昔懐かしい縁日遊びや屋台を用意し、帰省中の子や孫と遊びに来てもらったり、同級生や地域の方々との再会を楽しんでもらいました。

- 申請では、今後夏祭りを継続させていくために、
- ・祭り会場のライトや提灯
 - ・告知用のチラシ、のぼり旗
 - ・縁日遊びの用品、法被 などを購入しました。

活動への思い

三高地域の活性化に向けて、暮らす人、帰ってくる人、遊びに来る人、内と外をつないで行くこと、たくさんの人が“三高”でつながれることをコンセプトに活動しています。イベント開催を通して、お知らせに伺い、お話することで、応援してくれる人や協力してくれる人たちを募って、地域のつながり作りも始まりました。

皆さんに一言

江田島市の人口を維持するためにも、みなさん元気に長生きしてください！自分たちが育った地域を作ってきた世代から、次は自分たちの番です。



三高夏祭り

三高つなぐ会
代表 木原 江美 さん